

市制施行八十周年
記念特集号



— 東中学校にて —

力強い前進

胸を張り、一点を見つめて行進する中学生、どの子の胸も希望でふくらみ、秋風はさわやかに声援をおくる。校庭いっぱいにひろがった若い力は、いかなる障害もおしのける迫力を感じる。

市制施行80周年を迎えた鳥取市は、明治・大正・昭和初期と、たび重なる水害にいためられ、さらに、昭和18年の大震災、27年の大火災と、再起不能までに打ちのめされた。しかし、そのつど立ちあがった鳥取市民は、いま、新しいまちづくりのため、生産都市の建設に力強い前進をつづけている。

市制八十周年記念日

—十月一日—

故児嶋・米原の両氏に名誉市民の称号を贈る

十月一日午前九時から、市民会館大ホールに関係者約七百人が参加して、市制施行八十周年記念式典が盛大に行なわれました。

この日は、鳥取市が明治二十二年十月一日に市制を実施してから、ちょうど八十周年にあたる記念日であり、先人が築きあげたこの郷土に感謝する日でもありました。集まつた多くの人々は、鳥取市の飛躍的な发展を願い、また、その決意を新たにした意義深い日となりました。

なお、この式典で故児嶋幸吉、故米原章三の両氏



故児嶋幸吉氏



名誉市民章



故米原章三氏

生年月日 安政四年十一月一日生
本籍 鳥取市瓦町五〇番地 昭和四年十一月一日没（行年七十三歳）

明治二十一年因幡酒造組合を設立し、組合長となり、業界の指導者として販路の開拓、また、全国に先がけ動力による精穀会社を設立。

市議会議員四期、明治二十五年鳥取汽船会社を設立し、阪神地方

生年月日 明治十六年十一月十六日生
本籍 鳥取県八頭郡智頭町大字智頭五四五番地

昭和四十二年十月十九日没（行年八十四歳）

県議会議員就任中、因美線の敷設、志戸坂トンネルの開通に尽力しました、鳥取自動車会社を創設し、

鳥取大火災當時、県商工経済会長として罹災中小企業の復興資金等の便宜をはかる。昭和二十七年鳥取大火災時は、商工会議所会頭、各分野にわたり画期的振興に貢献。なお、これまでに名譽市民の称号を贈られた方々は、故田中政春氏、故遠藤董氏、故由谷義治氏、三浦百重氏の四氏です。

市の発展に功労のあった特別表彰20団体

鳥取市発展に大きく功績のあつた方々を表彰するため、審査会（学識経験者、市議会議員、市）で慎重審査の結果、つ

てもとづく四団体と四十人の一般表彰が行われました。

記念式典の終ったあと、日本住宅公團總裁、元鳥取県知事林敬三氏の記念講演「地方自治の変遷と将来」があり、そのあと鳥取市が初めて製作した観光映画「砂丘と湯のまちとつとり（カラービデオ）」が封切

り上映されました。

表彰を受けられた方々

（敬称略）

網師 銀蔵 賀露町
広田 敏男 卵垣

西川 徳弥 東品治町
(市議会議員として、市政発展と地方自治の振興に貢献)

花房 多喜雄 西町
(市議会議員として、市政発展と地方自治の振興に貢献)

沢田 竹次郎 東京都杉並区上
(火災復興土地区画整理事業に貢献)

田中 達之助 茶町
(郷土の民芸玩具を考案し、観光振興に貢献)

草野 恵 中町
(遺族の福祉増進に貢献)

藤野 武夫 吉方町
(児童福祉の向上に貢献)

坂本 定稔 賀露町
(社会福祉事業に貢献)

村上 善市 中町
(児童・幼児の健康管理に貢献)

田中 達之助 茶町
(郷土の民芸玩具を考案し、観光振興に貢献)

谷口 源十郎 吉方
(郷土芸能「因幡のかさ踊り」をひろめるなど、観光振興に貢献)

鳥越 若二 元町
(地元産業の発展に貢献)

中野 義尚 府丁人町
(児童・幼児の福祉増進に貢献)

中野 久子 寺町
(地区住民の福祉向上と浮浪者の保護に貢献)



小谷忠太郎	立川町	宮部 寿江	下味野
(農協の発展と組合員の福祉向上に貢献)		福田 秀秋	紙子谷
徳永 職男	大榎町	山本 英雄	長谷
(郷土史をひろめ、市民の教養文化の向上に貢献)		井上 賴蔵	生山
小川 清寺町		有田 孝喜	下砂見
秋山 清治		山本 熟	江津
(教育の振興に貢献)		坂本なお子	金沢
橘 幸雄		岡本 庄一	田島
金居佐千子		鳥井 瞳夫	國府町神護
(児童の健康管理(学校医)に貢献)		故木村 達男	岩美町浦富
4団体 40人		操 勘治	立川町二丁目
一般表彰を受けられた方々		高取 健一	玄好町
(敬称略)		中山 健一	大工町頭
◎自治功労 (市議会議員)		田村 勝	内護寺
渡辺寛太夫	越路	横山 章	今町一丁目
神崎 一郎	浜坂	池原 勝	立川町三丁目
太田 豊三	晚稻	高取 勝	立川町四丁目
井関 純雄	正蓮寺	中川 高住	立川町四丁目
寺垣 恒男		鈴宜谷	立川町三丁目
藤原 繁義		向国安	立川町三丁目
田川 幸男		材木町	立川町四丁目
山田 正雄		幸江	立川町三丁目
(農業委員)		原 落合	立川町三丁目
東 重美	上砂見	山本 健治	元町
(民生委員)		本城 英賢	上味野
谷本 鎮雄		長尾 政夫	材木町
(市職員)		谷口 太祥	新品治町
谷本 鎮雄			
井上 安栄			
田中 盛吉			
桜谷			

表彰条例により

表彰

(児童の健康管理(学校医)に貢献)

秋山 清治

(教育の振興に貢献)

小川 清寺町

(郷土史をひろめ、市民の教養文化の向上に貢献)

(農協の発展と組合員の福祉向上に貢献)

◎自治功労

(敬称略)

◎保健衛生功勞

(敬称略)

◎産業功勞

(敬称略)

将来の發展を願つて



鳥取市議会議長

網 師 銀 藏

市制施行八十周年の誕生日を迎え、市民皆さんとともに心から慶祝いたします。

鳥取市は明治二十二年人口約二万七千余人をもつて産声をあげました。以来今日まで八十年の歳月を経たのですが、この八十年の歴史のページには多くの糾余曲折がございました。特に大正、昭和にかけての幾度かの大洪水、昭和十八年の鳥取

大震災、二十七年の大火災は筆舌につくし難いほど悲惨なもので、その復興も危ぶまれながらも、現在の鳥取市に生きる私たちの務めとしましては、これら偉大な先人の業績に対し、深く敬意と感謝の誠をささげ、今後ますます、鳥取市が飛躍発展すべく一層の努力をいたさなければならぬと存じます。

鳥取市は、新全国総合開発計画の中核都市として、産業、文化、教育、民生と、あらゆる部門において近き将来發展が約束されていますが、この八十年を契機として、さらに一段と大きく前進させるよう未熟ながら精いっぱいの努力を傾注し

市民のみなさん、市制施行八十周年おめでとうございます。

本市が明治二十二年十月一日、市制を施行してから八十年、今や人口十一万六千九百余人在数える山陰第一の都市として、また政治、産業、交通、

これらの解決を図り、産業、文化の發展と福祉の充実した近代都市の建設をめざして前進して行くことが、現代を担うわたしたちに課せられた責務であると考えます。

これらの努力を誓い、市民のみなさんとともに鳥取市の輝しい未来を期待してやみません。

この八十年の意義ある日を迎えて、志を新たにし、職責を完遂して、市民の負託にこたえるよういつそうの努力を誓い、市民のみなさんとともに鳥取市の輝しい未来を期待してやみません。



鳥取市長

高田 勇

市民みなさんのご指導、ご鞭撻をお願い申上げます。

写真で語る 鳥取市八十年の歩み

日本海の荒波と中国山地にはばまれた鳥取市は、大陸の孤島とも言われるほど恵まれない地理的条件にありました。

こういった環境の中で、明治二十二年十月一日市制をした鳥取市は、大正元年、七年、十二年、そして昭和三年、八年、九年と、たび重なる大洪水にいためられ、さらに、鳥取大震災、鳥取大火に打ちのめされるなど、苦難のみちを歩みました。しかし、代々の市民は、その難渋のなかから立ちあがり、産業に文化に、そして教育にと力強い

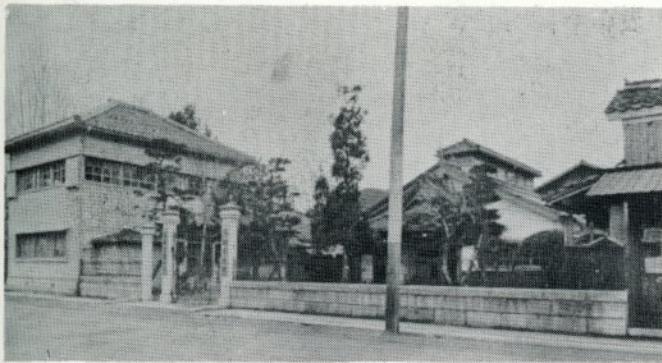
成長をとげました。

いま、鳥取市は、この尊い足跡を基盤として、健康都市、生産都市の建設にめざましい躍進をつづけております。

そこで、この記念すべき八十年の市民の足跡を写真でつづってみました。

なお、本紙掲載の写真を希望される方は、実費（サービス版十五円）でお問い合わせください。

十月三十一日まで現金をそえて市役所庶務課広報係までお申込みください。



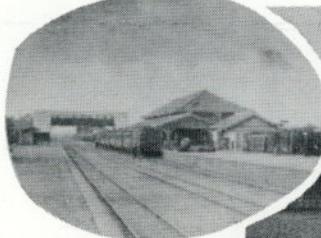
市役所庁舎

明治22年10月1日、鳥取市が誕生、第1回市会は10月27日三育校で開かれた。そして、從七位岡崎平内氏の市長就任が裁可されたのは11月15日で、翌23年1月4日因幡高等小学校女子部校舎を市庁舎として開庁。



鳥取郵便電信局とその周辺

明治22年7月、郵便局と電信分局が合併して二階町三丁目に開局。そして25年8月本町3丁目角に移り、以来昭和27年鳥取大火被災までここに続いた。



鳥取停車場

明治41年4月5日、困難をきわめた千代川鉄橋が完成し、列車が鳥取停車場にはいる。山陰線建設概要是「開拓なる千代平野を東に向つて……市街の南方田圃の中に達し鳥取停車場を設置す」と記して

明治十四年（一八八一年）	鳥取城解体	明治十五年（一八八二年）	鳥取県再置	明治四年（一八七一年）	鳥取縣設置	明治五年（一八七二年）	鳥取縣新聞發行	慶安三年（一六五〇年）	櫛輪神社建造される。
明治二十二年（一八八九年）	鳥取市市制を布く。人口二	明治二十三年（一八九〇年）	布勢城主山名誠通が久松山に築城	天正元年（一五七三年）	吉川経家、鳥取城主となる。	元和三年（一六一七年）	姫路城主池田光政、因伯三十二万五千石の領主として鳥取に入城。	寛永九年（一六三二年）	池田光仲、鳥取城主（光政岡山へ国
明治二十六年（一八九三年）	千代橋（木橋架設、県立病院創設	明治二十七年（一八九四年）	山名豊國、天神山城を引き払つて鳥取城に入城、山頂に三重の天守櫓を移築。	天平九年（一五六〇年）	天正元年（一五七三年）	天和九年（一六一九年）	天和九年（一六一九年）	天和九年（一六一九年）	天和九年（一六一九年）
明治二十九年（一九〇六年）	鳥取市役所新築	明治三十一年（一九〇八年）	鳥取市役所新築	明治三十一年（一九〇八年）	鳥取市役所新築	明治三十二年（一九〇九年）	鳥取市役所新築	明治三十二年（一九〇九年）	鳥取市役所新築
明治三十三年（一九一〇年）	鳥取市役所新築	明治三十五年（一九一一年）	鳥取市役所新築	明治三十五年（一九一一年）	鳥取市役所新築	明治三十六年（一九一一年）	鳥取市役所新築	明治三十六年（一九一一年）	鳥取市役所新築

鳥取市のあゆみ



大正元年の大洪水一大工町頭一

この洪水で、市内5,432戸のうち、5,194戸が床
上浸水、千代川、袋川は数カ所が決壊。



鹿野街道
当時市中第一の繁華街、当時の運輸がも
つばら袋川に助けられたことによる。



樹形の青物市

藩政時代から最もにぎわったのは鹿野橋を中心とする青果と、魚鳥の市場であった。青物市場はこの樹形と外市で隔日に開かれた。



智頭街道 一明治45年一

山陰線の全通は全市をあげての祝賀であった。この写真は当時の智頭街道の祝賀風景。



昔の千代橋

この写真は大正12年の大洪水時、この木橋は昭和7年に鉄筋コンクリート造りに掛け替えられた。

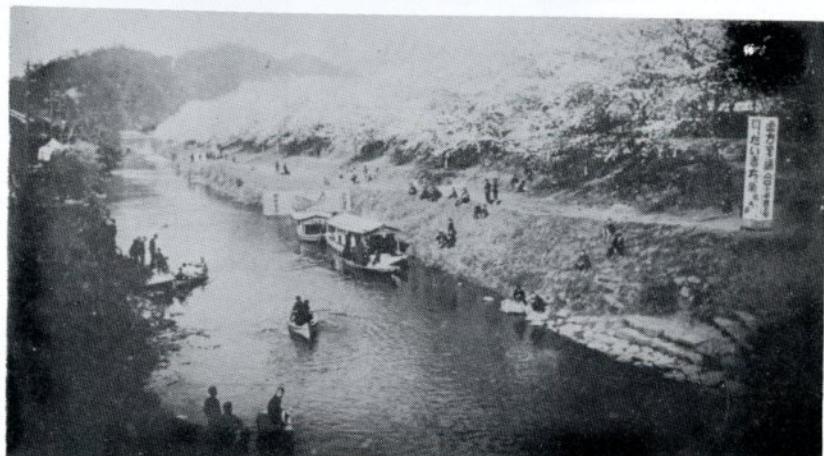
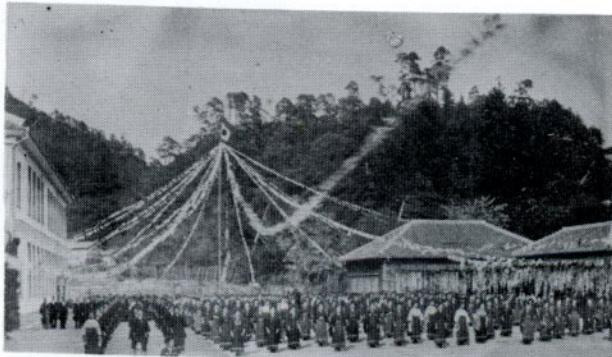
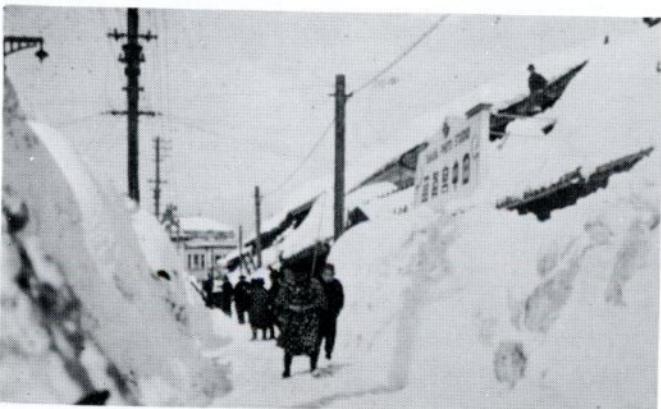
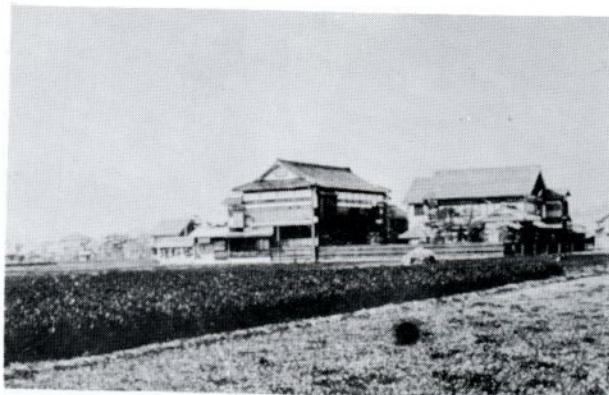


若桜街道の装飾 ここにも市民のよろこびがうかがえる。

明治二十八年（一八九五年）	四月	コレラ発生（集会等禁止）	明治二十五年（一八九二年）	四月	面影小学校創立
明治二十九年（一八九六年）	三月	市立高等小学校創立	明治二十六年（一八九三年）	八月	富桑、倉田小学校創立
七月	十月	西日本大暴風雨（市内大洪水）	明治二十七年（一八九四年）	八月	鳥取郵便電信局設置
三月	十二月	大郷小学校創立	明治二十八年（一八九七年）	一月	市役所開庁（因幡高等小学校建物を譲り受けて市役所と決定）
明治三十年（一八九八年）	三月	歩兵第四〇連隊設置	明治二九年（一八九六年）	三月	稻葉村誕生
明治三十一年（一八九八年）	四月	県議会議事堂落成	明治三十一年（一九〇〇年）	四月	智頭橋掛け替
明治三十二年（一八九九年）	十月	八千代橋完成	明治三十二年（一九〇〇年）	八月	富桑小学校創立
明治三十三年（一九〇〇年）	六月	干天つづきで袋川は磧となる	明治三十四年（一九〇一年）	三月	中ノ郷小学校創立
明治三十五年（一九〇二年）	八月	ゴミ集めを請負はじめる。	明治三十五年（一九〇二年）	五月	柳藏跡に醇風小学校新築

明治21年、鳥取婦人会が江崎に私立鳥取女学校を創立（明治34年4月県に移管）本県における女子中等普通教育のはじまり。

大正十三年ごろ駅近くに発見された温泉は、微々たる公衆浴場にとどまっていた。しかし、不況が回復しはじめた昭和八年には、道路改修も始まり発展の機運に向い、同十二年ごろには活気がでてきた。



桜土手と屋形舟

1里(4秆)にわたる桜のトンネルは、鳥取市の名所であり、船での酒宴もしげやかに行なわれた。（昭和10年ごろ）

明治36年（1903年）

市内で初めての耕地整理（吉方村）

明治37年（1904年）

5月 歩兵40連隊日露戦争に出動

明治38年（1905年）

5月 山陰鉄道青谷まで開通

明治39年（1906年）

12月 賀露高等小学校創立

明治40年（1907年）

電燈がはじめてつく

明治41年（1908年）

4月 烏取停車場落成

6月 烏取造士学舎開設

10月 電話開通 高草農業学校開校

明治42年（1909年）

4月 日進小学校新設

明治43年（1910年）

4月 県立鳥取商業学校開校

5月 鉄道烏取～岩美間開通

明治44年（1911年）

6月 チフス全市に大流行

明治45年（1912年）

3月 山陰線全通

大正

元年9月 市内大洪水 5,432戸中

5,194戸浸水

大正2年（1913年）

6月 吉村徳平氏上町に公会堂を建築し、市に土地と建物を寄付

大正3年（1914年）

2月 明治村誕生

11月 山陰初の飛行機鳥取練兵場へ

大正4年（1915年）

10月 上水道給水開始

大正5年（1916年）

10月 烏取～智頭間鉄道着工

大正6年（1917年）

10月 大正・東郷村誕生

大正7年（1918年）

1月 神戸村誕生

4月 米里村誕生

9月 市内大洪水 美歟水源地決壊

大正9年（1920年）

9月 烏取高農開校

大正10年（1921年）

6月 市営火葬場丸山に設置決定

大正11年（1922年）

9月 久松遊園地拡張し、久松公園に

大正12年（1923年）

4月 烏取第二中学校開校

5月 富桑木市に合併

6月 因美線智頭まで開通

9月 大洪水

大正13年（1924年）

10月 公設グラウンド開設

大正14年（1925年）

3月 末広に温泉噴出

大正15年（1926年）

7月 湯所に養老施設「共睦園」創設

昭和

昭和2年（1927年）

4月 西品治大火 194戸焼失

昭和3年（1928年）

1月 千代水に小作争議おこる

11月 智頭街道に鈴蘭燈つく

昭和4年（1929年）

11月 榛名公園完成 湖山小学校完成

昭和5年（1930年）

11月 鳥取図書館完工（鉄筋建）

鳥取商工会議所連合会成立

昭和6年（1931年）

1月 八千代橋完工渡初め式

3月 市立鳥取病院開院

12月 新千代川通水

昭和7年（1932年）

4月 稲葉村合併

7月 因美線全通

11月 千代橋架替竣工（鉄筋造り）

昭和8年（1933年）

4月 中ノ郷村合併

8月 澄宮ご来鳥

10月 美保村合併

昭和9年（1934年）

9月 山陰随一の木橋源太橋完工

するも、大洪水（648戸浸水）で流失

昭和10年（1935年）

7月 市立青年学校開設（寺町）

昭和11年（1936年）

12月 NHK鳥取放送局開局

昭和12年（1937年）

2月 賀露村合併

昭和13年（1938年）

1月 智頭橋架替

10月 大和小学校新築

昭和14年（1939年）

9月 日本海新聞社創立

昭和15年（1940年）

3月 鳥取市金庫設置

昭和16年（1941年）

4月 消防署を東町に移転

11月 市母子寮開設

昭和17年（1942年）

3月 湯所橋完工

昭和18年（1943年）

9月 鳥取大震災、倒壊家屋4,533戸、死者1,085人、重軽傷者1,714人、焼失家屋297戸

終戦

昭和20年（1945年）

8月 市上空に米機ビラ散布、終戦

昭和21年（1946年）

5月 市民病院誕生

9月 津田女子学院創立

昭和22年（1947年）

4月 学制改革 6・3・3制

第1回県・市首長公選

5月 鳥取市婦人団体協議会結成

11月 天皇陛下御巡幸

鳥取大震災

昭和十八年九月十日、午後五時三六分五七秒
一瞬にして七、八四九戸の全半壊、死傷者二、
六二七人、総額一億三、八三六万円余の被害が
である。



鳥取大火——一面の焼野原——

昭和27年4月17日、永楽通りの一角から火の手があがり、フェーン現象のなかで12時間燃え続け、市街地を焼土と化す。ふろしき包み一つが全財産となつた人もいた。被災戸数5,228戸、被災者20,451人、損害額約200億円、当時戦後最大の大火灾。



市立病院

市民の健康管理をあづかる基幹病院として、昭和38年6月改築、収容能力216床舎、現在診療棟の増設中。

昭和二十三年（一九四八年）

四月

県立鳥取実業高校（現鳥取農高）開校

四月

南中学校開校

四月

国民健康保険を市の公営事業

四月

鳥取大学開校

六月

鳥取市連合青年団結成

五月

鳥取市立療養所開設（未恒）

五月

鳥取大火災焼失五、二二八戸

四月

罹災人口二〇、四五一人

四月

市広報紙発行（第一号）

三月

神戸村ほか十四カ村合併

七月

稻葉山小学校開校

八月

昭和二十九年（一九五四年）

七月

児童会館完成

七月

鳥取市長連合会結成

二月

米里村合併（墓地）

七月

昭和三十一年（一九五六年）

三月

戦没者慰靈塔建立（円護寺）

十月

市民憲章制定

昭和三十二年（一九五七年）

九月

花いっぱい運動発足

昭和三十三年（一九五八年）

七月

第一回市民体育祭

十月

市内商店街休日制実施

昭和三十五年（一九六〇年）

八月

鳥取市町内会連合会発足

昭和三十六年（一九六一年）

十月

市体育協会全国表彰

昭和三十七年（一九六二年）

五月

国民宿舎「砂丘荘」完成

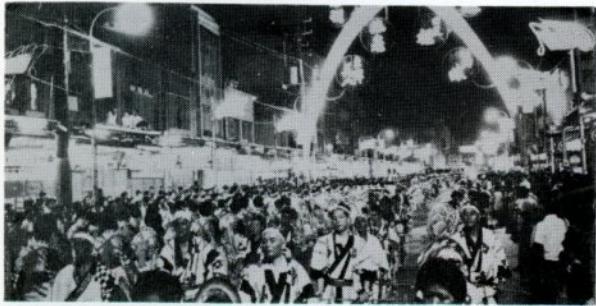
七月

市農協誕生（十七農協が合併）

四月

津ノ井村合併

江山中学校（統合による）誕生



しゃんしゃん祭りの誕生

昭和40年8月15・16日の2日間、第1回しゃんしゃん祭りが行なわれ、年々盛大になり、ことして5回目。



天皇・皇后両陛下をお迎え

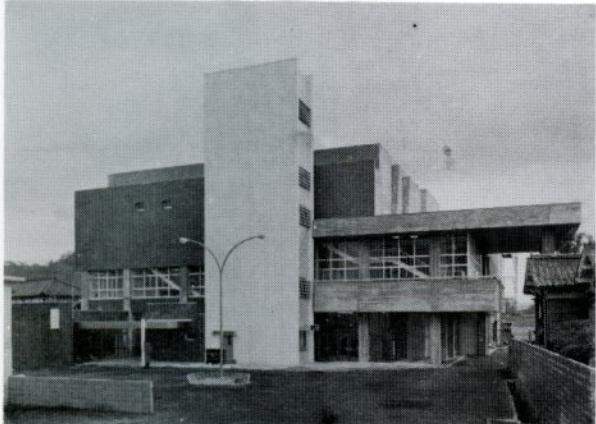
—護国神社にて—

昭和40年5月9日、大山での第16回植樹祭にご臨席、鳥取市には5月13日・14日の2日間ご滞在、砂丘や各種施設をご覧になる。



三洋電機の誘致

鳥大跡地に三洋電機の誘致が決定（昭和41年6月1日調印）関連企業等の誘致も進み、生産都市へ大きく躍進。



市民会館の完成

待望久しかった文化施設「市民会館」が昭和41年十二月完成、翌年一月から開館、総工費二億五千五百万円。
市内商店街休日制実施によりきめ細かいサービス行政を推進
—昭和三十九年十月—



十月 終末処理場「城北淨苑」開設

設。精薄児通園施設「若草学園」開設

十一月 錆路市と「姉妹都市」の縁組み

昭和三十九年（一九六四年）

二月 湖東給食センター完成

四月 高草中学開校（統合による）

五月 眼球銀行設立（市立病院内老人取容施設「敬生寮」完成）

十月 市庁舎完成（三億五十六万円）鳥取大学湖山へ統合移転

昭和四十年（一九六五年）

五月 天皇・皇后両陛下行幸啓

八月 第一回しやんしやん祭り

昭和四十一年（一九六六年）

四月 第一給食センター完成

六月 鳥大跡地に三洋電機誘致

八月 皇太子・同妃両殿下ご来島

十月 水道局庁舎完成（上町公会堂跡）

昭和四十二年（一九六七年）

一月 市民会館完成（二億五千五百百円）

五月 消防庁舎新築移転（行徳に）

七月 名譽市民四氏決定（称号贈呈）故田中政春氏 故遠藤董氏 故由谷義治氏 三浦百重氏

四月 市の木「ザザンカ」と決定

五月 世紀小学校完成

七月 総合グラウンド「野球場」完成

十月 公共下水道供用開始

昭和四十四年（一九六九年）

三月 卸売団地完成新町名、商業町田園町、青葉町（旧田島誕生鳥取火災復興土地区画整理事業完了）

十月 青島への歩道橋「青島大橋」完成

市制八十周年記念式典他各種



大樹莊 一昭和43年4月から営業開始

お年寄りの方々に『いこい』の場を……と閑静で美しい湖山池畔に完成（収容能力、宿泊60人、休けい150人）



鳥取空港ができる

昭和42年7月31日に開港した鳥取空港は、鳥取市の空の玄関として年々利用者がふえている。



城北淨苑 一終末処理施設

家庭や事業所などからのし尿や汚水等の浄化処理施設であり、近代都市として欠かせないもの。



水道庁舎

上町の元公会堂跡地に、工費約3,500万円で完成。積極的に水道事業の拡張に取り組む。



青島大橋（歩道橋）

湖山池観光開発のキーポイントともいえる青島への夢のかけ橋は、長さ二百㍍、幅三㍍、島にかかる橋としては全国でもまれなもの。

—昭和44年10月21日完工式—

島への歩道橋「青島大橋」

鳥取根性



株式会社鳥取銀行

会長 谷口源十郎

従来、一部で鳥取人は山陰道の気候、風土に支配されて、氣質が陰鬱消極的で企業意欲に欠けているなどと言われています。

しかし、これはある期間をみた一時的観察で、当を得てないと私は思います。明治、大正年代に実業家として活躍した八村八四郎、志村為吉、児嶋幸吉、奥田亀藏さんなどは最つとも秀れた才能と胆力を具えた人達でありました。鳥取人が此様な批判を受けまし

寄稿 — 市制八十周年によせて —

鳥取市の黎明のために



鳥取青年会議所

理事長 中尾喬一

鳥取市は、明治二十二年十月一日市制がしかれてより八十年、その間天災地変による悲しみは、いつか復興のつち音と変り、近代化都市づくりに努力する力強い市民の息吹となりました。

しかし、近年日本経済のめざましい発展成長の裏では、中小企業や農業が谷間にあえぎ、また、人間の存在が見失われがちな多くの

たのは、大正の初め数回にわたり大洪水に襲われて大損害を被り、鳥取は事業地帯として不適当なりと烙印を押されたこと。そして昭和の初めごろより農村の不況、夫養首相暗殺などテロ事件の続発、長期にわたる戦争、次いで敗戦と苦難時代の連続であり、鳥取人活躍の機会なく雌伏せざるを得なかつたからであります。

昭和二十七年の鳥取大火災は、今なお市民の記憶に新たなようすに、鳥取の再建は困難である、ダメで

鳥取市となりました。だが、今後さらに鳥取精神を発揚して、本市の繁栄と市民生活の充実を念願して止みません。

このようにして、鳥取市街は立派になり、文化施設もおいおいに完備し、また、消費都市から生産都市、観光都市に進展して、市民の生活は豊かになり、住みよい我鳥取市となりました。

■歴史がつちかつた「落ちつきある住みよさ」を保存しつつ、若い人に魅力ある近代的都市づくりを進めよう。

■工業を第一とし、観光を第二とする「公害のない産業開発」を推進しよう。

■若い世代の人に芽生えている「鳥取は気候風土がよい」という意識を広く市民・県民・国民に広めていこう。

そこで我々青年会議所では、昭和四十年以来、「社会と人間の開発」を実現するため、鳥取市が当面する「最も大切で最も急ぐ」問題をとりあげた調査をしました。そのなかでは、

あると悲痛の声が起つたほど、深刻な災害でしたが、鳥取人の不屈な根性、将来を洞察する英知と勇気により、あの焼野原より立ち上がり、今日見られる立派な近代都市を建設したのであります。

もとより国の指導援助に依つて、大いに誇ってよろしいと思います。

このようにして、鳥取市街は立派になり、文化施設もおいおいに完備し、また、消費都市から生産都市、観光都市に進展して、市民の生活は豊かになり、住みよい我鳥取市となりました。

だが、今後さらに鳥取精神を発揚して、本市の繁栄と市民生活の充実を念願して止みません。

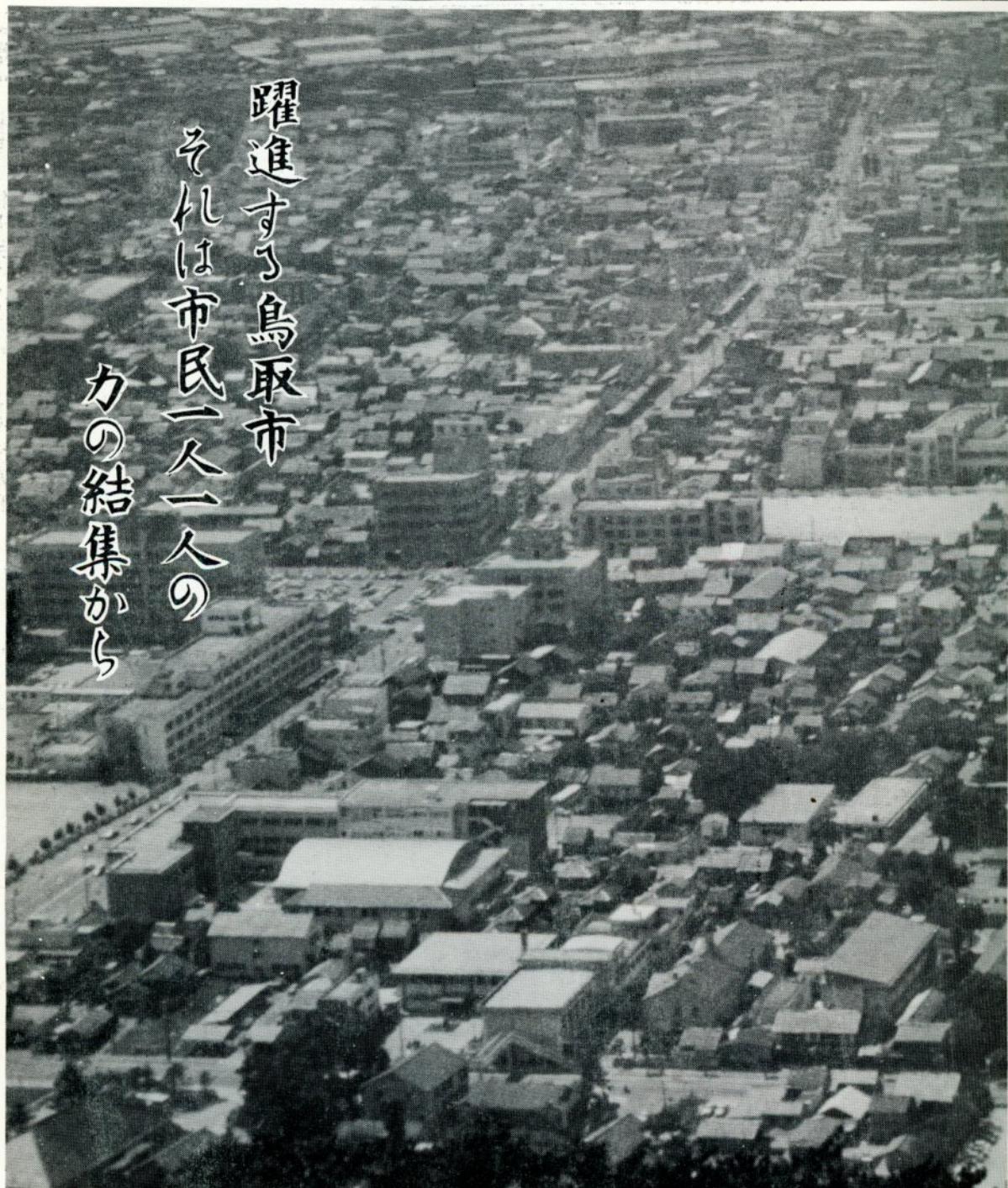
歴代の市長・市議会議長

市長

初代	岡崎	平内	明22.11～明23.1
2	田中	政春	”23.5～”34.3
3	天野	祐治	”34.7～”37.4
4	尾崎	武久	”37.8～”39.12
5	藤岡	直蔵	”39.12～大5.12
6	内海	淡	大5.12～”7.7
7	入江	澄	”7.11～”8.3
8	山内	虎蔵	”8.7～”12.7
9	山村	英太郎	”12.11～昭2.10
10	楠城	嘉一	昭2.12～”14.11
11	井上	光美	”14.12～”18.12
12	吉村	哲三	”18.12～”21.11
13	竹田	平一	”22.4～”24.3
14	森中	豊治	”24.5～”26.1
15	入江	昶	”26.3～”34.2
16	高田	勇	”34.2～現在にいたる

市議会議長

初代	田中	政春	明22.10～明23.5	18	楠城	嘉一	”12.12～昭2.12
2	宮崎	貞蔵	”23.5～”26.7	19	浜本	房蔵	昭2.12～昭6.5
3	瀧	七蔵	”26.8～”27.8	20	万井源太郎	”6.5～”10.5	
4	平野	重蔵	”27.8～”29.9	21	米沢	喜男	”10.5～”14.5
5	豊田	繁	”29.9～”31.9	22	浜本	房蔵	”14.5～”15.6
6	山縣市	三郎	”31.10～”32.1	23	由宇	石治	”15.8～”21.4
7	太中藤	次郎	”32.1～”32.3	24	松久	常蔵	”21.5～”22.5
8	船越	莊治	”32.4～”33.1	25	平尾	富治	”22.5～”25.11
9	網谷	金次	”33.1～”38.1	26	西尾	綱平	”26.1～”29.12
10	木下	義之	”38.1～”45.1	27	西川	徳弥	”29.12～”34.2
11	高松	久治郎	”45.1～”42.9	28	広田	敏男	”34.2～”35.12
12	木下	義之	”42.10～”6.9	29	浜崎	芳雄	”35.12～”36.12
13	五藤	直義	”6.10～”7.10	30	小谷忠太郎	”36.12～”37.12	
14	木下	義之	”7.10～”8.3	31	渡辺寛太夫	”37.12～”39.12	
15	君野	順三	”8.6～”8.11	32	近藤	松寿	”39.12～”41.12
16	浜本	房蔵	”8.11～”12.5	33	尾坂	雅人	”41.12～”43.12
17	君野	順三	”12.6～”12.12	34	網師	銀蔵	”43.12～現在にいたる



躍進する鳥取市
それは市民一人一人の
力の結集から

さらに前進をつづける鳥取市は、鳥取駅の高架化、駅前の大改造に着手し、また、千代川河口、鳥取港の改修を計画するなど、将来に向っての大事業に積極的に取り組んでおります。

さらに、新全国総合開発計画にそった総合的な開発計画も進められており、近い将来鳥

取市は、鳥取県東部、兵庫県西部地域の中核都市として、大きく発展することが約束されております。

だが、なんといっても、鳥取市発展の源動力は、市民一人一人の力の結集だといえましょう。

九月定例市議会

総額三億七百三十二万一千円を補正

家庭奉仕員を四名増員など

九月定例市議会は、九月十八日から二十四日までの七日間の会期で開かれ、一般会計補正予算など三十の議案が提案され、審議の結果、可決承認されました。

おもな提出議案

▲44年度一般会計補正予算

現予算額に一億九、一二四万円を追加し、本年度予算総額を三十三億八、九四四万円とするもの。

おもなものは、家庭奉仕員四人増、道路の改良整備、都市公園事業、久松・美保小学校の建設、鳥取城跡公園の整備などの経費。

▲44年度鳥取市住宅改修資金貸付事業費、下水道事業費、と畜場費特別会計補正予算

▲44年度鳥取市土地取得費特別会計補正予算

▲44年度鳥取市住宅改修資金貸付事業費、下水道事業費、と畜場費特別会計補正予算

定

▲鳥取市土地開発基金条例の制定
これは、市が行なう事業に必要な土地等を、あらかじめ取得するための基金を設けるためのもの。

定

▲鳥取市財産評価審議会条例の制定
これは、公有財産の購入や売り払い、交換等をする際、適正な評価を行なうため、財産審議会を設けるもの。

定

▲鳥取市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
これは、非常勤消防団員等の損害補償基礎額の引上げを行なうものの、

るく住みよい社会を……と、ことしも募金運動が始まりました。みなさんのご協力をお願いします。

▲鳥取市住宅改修資金貸付条例の一部改正

これは、同和地区に対する不



良住宅改修資金の貸付限度額を、四十万円から五十万円に引き上げるもの。

▲鳥取市砂丘莊使用条例の一部改

これは、宿泊料百円の値上げするため設けられたもので、一億円の事業費を計上したもの。

▲鳥取市大樹莊使用条例の一部改

これは、公用または公共用などにつかう土地を取得しやすくするために設けられたもので、一億円の事業費を計上したもの。

▲44年度鳥取市立病院、国民宿舎、老人休養ホーム事業会計補正予

これは、病院関係は建設改良費を、また国民宿舎、老人休養ホームは、利用料金値上げに伴なう食事材料と防火設備などの改善のための経費。

▲43年度鳥取市水道、病院、国民宿舎、老人休養ホーム事業会計決算の認定

これは、四宮守正氏を委員（再任）とするもの。

▲鳥取市教育委員会委員の任命

これは、鈴木敬直、宮崎幾馬の両氏を委員とするもの。

▲鳥取市固定資産評価審査委員会委員の選任

これは、加納勝己氏を委員とするもの。

▲鳥取市公平委員会委員の選任

これは、鈴木敬直、宮崎幾馬の両氏を委員とするもの。

▲人権擁護委員候補者の推せん

これは、川口慈教、大賀正男、今本良造、浜野二郎、長尾政夫、原田靖雄の六氏を委員に推せんするもの。

▲名譽市民の決定について

これは、故児嶋幸吉氏、故米原章三氏を名譽市民とするもの。

▲鳥取市郵便貯金は、個人の家庭生活の安定に役立つとともに、市営住宅の建設や生活環境の整備などに大きな役割りを果していきます。

このように、昭和四十二年度から八カ年計画で「鳥取城跡環境整備事業」を計画し、四十三年度は、天球丸の側溝や、二ノ丸下の石段補修、標柱、標示板などの整備を行ない、

▲鳥取市消防団員等公務災害補償

これは、非常勤消防団員等の損害補償基礎額の引上げを行なうものの、

▼飲酒運転の追放

車を運転するときは、絶対に酒を飲まない。また、車を運転する者には、絶対にすすめない。飲酒運転は、あなたの人生の破滅の第一歩……。

▼子どもと老令者には、特に注意

子どもは、どこから飛び出してくるかわかりません。また、老令者は機転に乏しく、身のかわしも困難です。運転者は、とくに気をつけましょう。

▼正しい横断の励行と

歩行者優先の徹底

歩行者は、横断歩道を渡るとき、かならず左右の確認を、運転者は横断する人の確認と歩行者優先の徹底を……。

秋の交通安全運動月間

10月6日～15日

とどり市報

ジフテリヤ・百日ぜき・破傷風 予防接種

接種場	対象区域	接種日	
		第1期第2回お よび第3期の者	第1期第3回お よび第4期の者
湖山公民館	湖山、賀露、末恒	10月20日(月)	
大正小学校	大正、東郷	" 21日(火)	
津ノ井 リ	津ノ井、米里	" 22日(水)	
世紀 リ	明治、豊実、松保	" 23日(木)	
美和 リ	神戸、大和、美穂	" 23日(木)	
稲葉山 リ	稲葉山	" 28日(火)	
日進 リ	面影、修立、日進	" 29日(水)	
久松 リ	久松、城北	" 30日(木)	
明徳 リ	倉田、美保、明徳	" 31日(金)	
湖南公民館	湖南	10月13日(月) 11月4日(火)	
醇風小学校	醇風、富桑	" 15日(水) " 5日(木)	
達秀 リ	達秀、その他	" 16日(木) " 6日(木)	

(注) 第1期第1回および第2期は実施(9月に)済みです。

○対象者

- 第1期 S43.4.1 ~ S44.6.30までの出生者
- 第2期 S42.4.1 ~ S43.3.31までの出生者
- 第3期 S38.4.2 ~ S39.4.1までの出生者
(昭和45年度小学校入学予定者)
- 第4期 S32.4.2 ~ S33.4.1までの出生者
(小学校6年生)

○実施方法

- 第1期(ジフテリヤ、百日ぜき)3週間の間隔で3回接種
- 第2期(ジフテリヤ、百日ぜき)1回接種で終了

第3期(ジフテリヤ) "

第4期(ジフテリヤ) "

○実施時間 午後1時30分~3時

○料 金 無 料

○予防接種をしてはいけない人

- (1)熱のある人や病気にかかっている人など
- (2)アレルギー体质、ひきつけを起こしやすい人
- (3)病後で体の弱っている人、他の予防接種を受け1週間以内の人など。

○その他の

- 第2期の対象者で、第1期の予防接種のときにジフテリヤ、百日ぜき、破傷風の三種混合ワクチンを受けていて、引き続き三種混合ワクチンを受けたい人(他市町村からの転入者や、医療機関でこれまでに三種混合を受けている人)は、当日その旨係員に申し出してください。

職員募集 国民宿舎一砂丘荘

- ※職種・人員 応接員5人
- ※待遇 市役所職員に準ずる
- ※年令・性別 40歳以下の女子
- ※申込み期限 10月20日まで
- ※申込みと詳しいことは

鳥取市浜坂 国民宿舎 砂丘荘 電22-2128

小児マヒ生ワク投与

- 対象者 S44.1.1 ~ S44.6.30までの出生者およびそれ以前の出生者で、生ワク投与を2回終っていない人。

○料 金 無 料

○時 間 午後1時30分~3時

○注意事項

- (1)発熱、下痢、結核、重症の心臓病者、病後の衰弱、栄養障害、できもの、発疹、種痘接種後2週間以内の者、はしか予防接種後1ヵ月以内の者は投与を受けられません。
- (2)この投与は県下統一で、この期をすぎると投与が受けられません。
- (3)都合で対象区域で投与を受けられない人は、他の会場で投与を受けてください。

計画日程

対象区域	投与場	日 時	
		第1回	第2回
吉岡、大郷、富桑、賀露、達秀	達秀小学校	10月1日(火)	11月12日(木)
面影、修立、日進、津ノ井、米里、稲葉山	修立小学校	" 14日(火)	" 25日(火)
湖山、賀露、末恒、久松、城北	久松小学校	" 15日(水)	" 26日(木)
明徳、美保、倉田、豊実、松保、神戸、大和、美穂	明徳小学校	" 16日(木)	" 27日(木)
対象区域で受けなかった者	児童会館	" 20日(月)	12月2日(火)

- なお、対象区域外で受けなかった者は、児童会館で10月17日実施と、9月号でお知らせしましたが10月20日に変更になりました。

ガン検診

■胃ガン検診

胃ガンは早期発見すれば、100パーセントなるともいわれています。

自己診断が一番危険です。早目に検診を!!

10月15日…市役所庁舎横

料金…1人600円(無料の場合もあります。)

申込みと詳しいことは

市衛生課(228111-251)へ

■子宮ガン検診

いつでも受け付けています。希望者は市衛生課に手続きをおいでください。

料金 300円(無料の場合もあります。)

身障者相談

10月17日 身障者整形定期相談

10月21日 " 耳鼻定期相談

■とき 午後1時~4時

■ところ 保健所

○相談においでときは、印かんと手帳をお持ちください。

犬の登録と狂犬病予防接種

計画日程

月日(曜)	地区名	実施場所	実施時間
10月7日(火)	末恒 湖山	末恒公民館 湖山	9.00~9.30 10.00~11.30
10月14日(火)	松保 千代水 中ノ郷	松保公民館 千代水農協 中ノ郷	9.00~9.30 10.00~11.30 9.00~9.30 10.00~11.30
10月15日(水)	大正 東郷 面影 美保	大正公民館 東郷農協 面影農協 美保	9.00~9.30 10.00~10.30 9.00~10.00 10.30~11.30
10月16日(木)	神戸 大和 稲葉山	神戸公民館 大和農協 稲葉山	9.30~10.00 11.00~11.30 9.00~11.00
10月17日(金)	明治 富桑	明治公民館 富桑農協	9.30~10.00 10.30~11.00 9.00~10.00
10月20日(月)	美穂 倉田 明徳	美穂公民館 倉田農協 明徳	9.00~10.00 10.30~11.30 9.00~10.30
10月21日(火)	米里 津ノ井 久松	米里農協 津ノ井農協 久松	9.30~10.00 10.30~11.30 9.00~10.30
10月22日(水)	吉岡 大郷 進	吉岡公民館 大郷農協 進	9.30~10.30 11.00~11.30 9.00~10.30
10月23日(木)	修立	修立御弓町乾薬局前	9.00~10.30
10月24日(金)	醇風 達秀	醇風鳥取保健所	9.00~11.00

○犬の飼育者は、からだらう時間をお守りください。

○登録手数料 560円 国20円 ケース50円

○指定期間(10月中)外の注射は100円増となります。

○前回の注射済票をお持ちください。

①飼育したくない犬は、保健所か市衛生課に届け出してください。

②予防注射や登録していない犬、また放し飼いの犬は、野犬として捕かく処分されます。

国民年金に加入ください

ご主人が勤め先で、共済組合や厚生年金などに加入していれば、年金による老後の保障がありますが、奥さん自身の保障はありません。しかし、これらの奥さん方もご希望により国民年金に加入でき、わずかの掛金で老後が保障されます。

加入の手続きは、印鑑を持って市役所国民年金課の窓口(1階)に申し出でいただければ、その場でかんたんに加入できます。

詳しくは、市保険年金課(228111-255)へ

10月は

国民年金保険料(7月9月)分の納付月です。お忘れなく!!

秋は大掃除のシーズン

今こそ、家中や外まわりの大掃除に絶好のシーズンです。

毎日の生活を清潔な環境で過ごしたいものです。ゴミは、川や公園などに捨てないでください。

不燃物の収集

不燃物は、指定収集日の前日ぐらいに持ち出してください。

特別清掃地域内の収集予定

10月15日・24日 11月5日・14日

南町(1部) 瓦町 荣町 弥生町 末広温泉町 永楽温泉町 吉方温泉1~4丁目 吉方2丁目(1部) 立川町5丁目(1部)

10月16日・25日 11月6日・15日

馬場町 上町 中町 吉方1~2丁目 立川町1~5丁目 卵垣 岩倉(稲葉ヶ丘を含む) 緑町 旭町

10月17日・27日 11月7日

田島 松並町1~3丁目 西品治(1部) 相生町1~4丁目 寿町(1部) 新品治町 田園町1~4丁目 青葉町1~3丁目

10月18日・28日 11月8日

西品治(1部) 千代町 八千代町 南町(1部) 寿町(1部) 行徳 今町1~2丁目(1部) 古市 富安 吉成

10月20日・29日 11月10日

賀露 湖山 吉岡

10月21日・30日 11月11日

浜坂 丸山 湯所町1~2丁目 東町1~3丁目 栗谷町 江崎町

10月13日・22日・31日 11月12日

材木町 玄好町 片原1~5丁目(1部) 西町1~5丁目 尚徳町 掛出町 広丁人町 大根町 御弓町 元大工町 大工町頭 上魚町 若桜町 銀治町 寺町 職人町 桶屋町 戸町

10月14日・23日 11月1日・13日

片原1~5丁目(1部) 本町1~5丁目 二階町1~4丁目 茶町 新町 元魚町1~4丁目 川端1~5丁目 元町

特別清掃地域外の収集予定

10月11日 11月7日 津ノ井

10月15日 11月12日 倉田 大正

